

地域学校協働活動（放課後子供教室）における青少年の体験の場づくりワーキングについて

1 趣旨

これからの生涯学習推進の戦略目標である「学びと実践の好循環」実現において、今後強化すべき学びの弱点分野の1つが、「青少年の生涯学習の体験の場の充実」である。

青少年が、充実した余暇時間を過ごし、これから社会にはばたく上での「生きる力」を育むため、様々な地域活動を体験する機会を創出する。

2 背景

生徒の放課後や休日の過ごし方としては、塾や習い事、部活動などがあるが、近年、ネット環境の進展等の社会変化により、テレビやゲームの使用が増えており、青少年が自然体験・社会体験を日常的に積み重ねて成長する機会が減少し、心や体を鍛えるための負荷がかからない状態になっている。

こうしたことから、**意図的に目標を持って体験活動等にチャレンジする機会を創出する。**

3 制度の概要

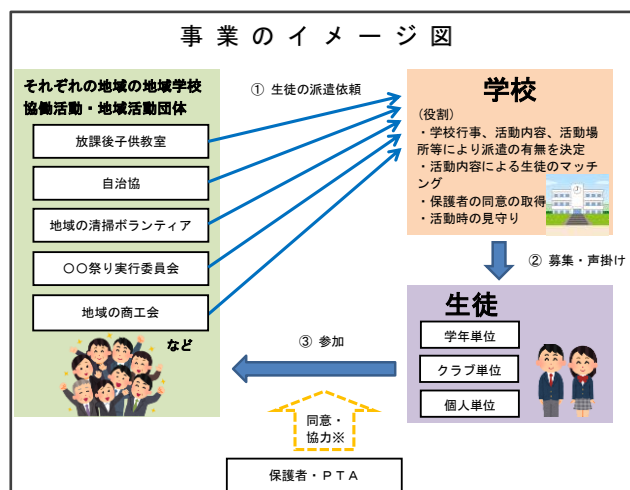
小学校の児童を対象とした地域学校協働活動（放課後子供教室など）や地域団体が企画するイベントなどの企画運営に、高校生が積極的に参画するもので、青少年が体験を通して地域活動を学べる事業である。（※将来的に中学生にも拡大予定）

4 推進方法

(1) ワーキンググループ設置

専門的な知識に基づく進言や助言が必要なことから、令和4年7月8日（金）に設置

(2) アンケート調査



5 ワーキンググループメンバー

風早放課後子供教室 協働活動支援員	清水 祥平
志和放課後子供教室 協働活動支援員	笠井 礼志
賀茂北高等学校 校長	松本 雅樹
豊田高等学校 校長	高本 道則
児童青少年センター 所長	新谷 三平
青少年育成課 課長	戸光 毅

6 今後の事業スケジュール

- 7月 市内高校生へアンケート調査の実施
※ 風早小学校／豊田高校によるパイロット事業開始
 - 8月～ ワーキング（アンケート結果分析等）
 - 9月～ 青少年問題協議会にて「体験の場」づくりについて説明
 - 10月～ ワーキンググループ及び高等学校、地域団体との施策・試行に係る協議
 - 11月 来年度予算案に反映
 - 1月～ 試行及び試行結果の検証
- 令和5年度 生涯学習の「体験の場」の実施